

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	15701	授業題目	家庭科教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火 3
担当教員名	菊地るみ子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8395			担当教員 E-Mail	rumiko@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	家庭科教育における教科理論について、教育実践の実態、歴史的視点及び他教科との関連から論じ、インクルージョン教育の視点から障害児を含む家庭科教育の基本的な在り方を考究する。						
授業計画	近年における家政教育に関連する内容を取り上げた論文を順次講読しながら、分析や検討を行う。						
達成目標(達成水準)	家庭科教育の意義、研究方法や分析方法を理解し、説明できること。						
授業時間外の学習	文献内容の概要を授業前に作成すること。						
教科書・参考書	日本家政学会誌・日本家庭科教育学会誌などから、論文を選定する。						
成績評価の基準と方法	レポート、出席状況などを総合的に評価する。						

授業コード	15702	授業題目	家庭科教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月2
担当教員名	菊地るみ子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8395			担当教員 E-Mail	rumiko@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	各自の研究課題を設定して、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成をはかるとともに、院生自らが主体的に研究する能力を高める。						
授業計画	研究課題に関連する文献を順次講読し、その成果と課題を明らかにしていく。						
達成目標(達成水準)	先行研究の到達点と残された課題をもとに、家政教育における各自の研究の意義と方法を理解すること。						
授業時間外の学習	文献内容の概要を授業前に作成すること。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。						
成績評価の基準と方法	レポート、出席状況などを総合的に評価する。						

授業コード	15703	授業題目	家庭科教育特論Ⅱ		単位数	2	
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火4
担当教員名	小島郷子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	家庭科教育における内容論や授業研究を中心に考察し、実践現場の教師が直面している諸問題について考究する。						
授業計画	学校教育現場の現状について理解し、学校教育における家庭科教育の課題のを追究する						
達成目標(達成水準)	学校教育現場における家庭科教育の今日的な課題と、それらの解決に向けた実践的研究手法を理解する。						
授業時間外の学習	家庭科教育関係の論文講読						
教科書・参考書	授業中に推薦する						
成績評価の基準と方法	出席およびレポートで総合的に評価						

授業コード	15704	授業題目	家庭科教育特論演習Ⅱ		単位数	2	
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	月3
担当教員名	小島郷子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	家庭科教育特論Ⅱに関して、その指導法を効果的にするために、教材や教具の開発等を含む具体的なテーマを設定し、家庭科教育について理解を深める。						
授業計画	1 家庭科授業の実践例の分析・考察 2 教材・教具の開発 3 家庭科の授業研究 (授業作り・実践・評価)						
達成目標(達成水準)	家庭科の授業を構想し、教材・教具の開発および、授業研究ができる。						
授業時間外の学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭科授業の実践例の収集 ・ 教材研究 						
教科書・参考書	授業中に推薦する						
成績評価の基準と方法	出席とレポートで総合的に評価						

授業コード	15711	授業題目	食生物学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	木 2
担当教員名	針谷 順子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8396			担当教員 E-Mail	harigai@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	学部で履修した、栄養学・食品学を基に、食生態学の視点から、特に食物とその教育(栄養・食教育、調理教育)についての基礎知識を習得し、課題研究を容易にすすめるための導入教育を目指す。						
授業計画	<p>調理学と食生態学、食物教育(栄養・食教育、調理教育)についての学問概念、研究の方法、これらから得られた知見の活用について講義する。具体的には</p> <p>①食生態学および料理選択型栄養教育の枠組み</p> <p>②食物の調理に伴う、物性、組織、機能成分の変化と人間の受容性</p> <p>③栄養・食・健康教育に関する理論モデル</p> <p>④栄養(食)教育プログラム作成に関するアセスメント、計画、実施、評価の理論について講義する。</p>						
達成目標(達成水準)	専門概論や研究の方法論を理解し、自らの研究課題をすすめる上での研究を確立するための方法論の基礎を身につける。						
授業時間外の学習	関連領域の知識を深めために、学術雑誌等を積極的に購読する。						
教科書・参考書	参考書「健康教育論」 宮坂忠夫、川田智恵子、吉田 亨(メヂカルフレンド社)						
成績評価の基準と方法	最終レポートを基に、出席、受講態度を加味し、総合的に評価する。						

授業コード	15712	授業題目	食物学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	針谷 順子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8396			担当教員 E-Mail	harigai@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	食物学特論 I を基に、研究をすすめるに必要な方法を確立するために、研究の方法論に関する基礎的知識を習得し、学問知見の活用・応用力の向上を目指す。						
授業計画	<p>各自の研究課題を設定して、その研究計画に従って、食物学特論 I で挙げた 4 つの内容、</p> <p>①食生態学および料理選択型栄養教育の枠組み</p> <p>②食物の調理に伴う、物性、組織、機能成分の変化と人間の受容性</p> <p>③栄養・食・健康教育に関する理論モデル</p> <p>④栄養(食)教育プログラム作成に関するアセスメント、計画、実施、評価の理論</p> <p>について、食物学特論 I に関する国内外の文献を購読し、高度な専門的知識の育成をはかる。</p>						
達成目標(達成水準)	研究の目的に合った方法を選択する力を身につける。						
授業時間外の学習	関連領域の知識を深めために、学術雑誌等を積極的に購読する。						
教科書・参考書	参考書「健康教育論」 宮坂忠夫、川田智恵子、吉田 亨(メヂカルフレンド社)						
成績評価の基準と方法	最終レポートを基に、出席、受講態度を加味し、総合的に評価する。						

授業コード	15721	授業題目	被服学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火5
担当教員名	田村和子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8397			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	被服教育、被服設計、被服心理など、被服学の各分野に関して、現代の諸問題について論ずる。						
授業計画	第1部 被服教育 第2部 被服設計 第3部 被服心理						
達成目標(達成水準)	講義の内容を土台として、広い視野に立って、被服学の視点から論じることができる。						
授業時間外の学習	日頃から新聞、本を読む習慣を身につけてほしい。						
教科書・参考書	必要に応じてプリントを配布する。参考書は講義の中で適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	出席とレポートで評価する						

授業コード	15722	授業題目	被服学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火5
担当教員名	田村和子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8397			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	被服学特論で論じられた被服教育、被服設計、被服心理の諸問題からテーマを設定し、関連文献の購読、既存資料等の分析、調査及び実験を通して理解を深める。						
授業計画	第1部 関連文献の購読 第2部 既存資料等の分析 第3部 調査及び実験						
達成目標(達成水準)	講義の内容を土台として、広い視野に立って、論じることができる。						
授業時間外の学習	文献・資料の予習・復習。毎日、新聞を読み、テレビニュースを視ること。						
教科書・参考書	必要に応じてプリントを配布する。参考書は適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	出席とレポート、試験で評価する						

授業コード	15741	授業題目	保育学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	上玉啓子			担当教員所属	香川大学		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	家族・家庭をめぐる社会の変容を把握しながら、今日の子どもの生活実態について、家族・仲間・地域との関係から分析するとともに、望ましい発達支援のあり方について考察する。						
授業計画	1. 変化する社会と子どもの生活 2. 子どもの人間形成と家族 3. 仲間関係と子ども 4. 子どもと地域 5. 少子化時代と子どもの価値 等						
達成目標(達成水準)	1. 子どもの成長発達に関心を持ち 2. 子どもの生活実態を捉える手法を自ら工夫して考えることができ、 3. 今日子どもへの望ましい発達支援について考察することができること。						
授業時間外の学習	集中であるので時間外の学習は課さない。時間中の積極的取り組みを期待する。						
教科書・参考書	資料等適宜用意する。						
成績評価の基準と方法	時間中の積極的取り組みや発表意見、出席状況等を評価して行う。						

授業コード	15751	授業題目	家庭経営学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	水 1
担当教員名	森田美佐			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail	kaseim@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	家庭経営学における基礎知識を理解した上で、現在の家族・家庭生活とそれらを取り巻く環境の相互作用を通して、家庭経営学の今日的課題を考察する。						
授業計画	現代日本の家族・家庭生活を「近代家族の過渡期」と捉え、特に男女共同参画社会に関する文献の理解を通して、今後の家族・家庭生活の在り方を考える。						
達成目標(達成水準)	男女共同参画社会に向けた家庭(生活)経営を営む力の形成。						
授業時間外の学習	授業中に指定する文献の熟読。						
教科書・参考書	講義の中で適宜指定する。						
成績評価の基準と方法	出席、授業中の発表、レポートを通して総合的に評価する。						

授業コード	15752	授業題目	家庭経営学特論特論			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	水1
担当教員名	森田美佐			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail	kaseim@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	家庭経営学特論で学んだことを中心に、各自が関心をもつテーマを設定し、そのテーマに関する研究の発表・議論を通して、問題に対する理解を深める。						
授業計画	家政学(生活経営学、家族関係学等)、家族社会学などの文献の中から、いくつかの文献を理解しつつ、各自のテーマに基づいた発表・議論を行う。						
達成目標(達成水準)	家庭経営学(生活経営学)の諸問題に関する、問題解決力の醸成。						
授業時間外の学習	各自のテーマに沿った文献の熟読。						
教科書・参考書	必要な場合、講義の中で適宜指定する。						
成績評価の基準と方法	出席、授業中の発表、レポートを通して総合的に評価する。						

授業コード	15752	授業題目	家庭経営学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	水1
担当教員名	森田美佐			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail	kaseim@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	家庭経営学特論で学んだことを中心に、各自が関心をもつテーマを設定し、そのテーマに関する研究の発表・議論を通して、問題に対する理解を深める。						
授業計画	家政学(生活経営学、家族関係学等)、家族社会学などの文献の中から、いくつかの文献を理解しつつ、各自のテーマに基づいた発表・議論を行う。						
達成目標(達成水準)	家庭経営学(生活経営学)の諸問題に関する、問題解決力の醸成。						
授業時間外の学習	各自のテーマに沿った文献の熟読。						
教科書・参考書	必要な場合、講義の中で適宜指定する。						
成績評価の基準と方法	出席、授業中の発表、レポートを通して総合的に評価する。						

授業コード		授業題目	家庭科教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	火4
担当教員名	菊地るみ子・小島郷子			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8395			担当教員 E-Mail	rumiko@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	家庭科教育における各分野の知見に基づき、教材内容や指導法について、附属校園等での授業研究を基に、理論的に研究することを指導する。						
授業計画	附属校園での実証的研究を念頭に、事前に作成した計画に基づき、研究を遂行し、データの分析、結果の考察、報告書の作成を行う。						
達成目標(達成水準)	教育現場に活用できる研究の遂行、結果の考察を通じて、授業改善への知見を得ること。						
授業時間外の学習	データ解析・教材研究等は授業時間外に行う。						
教科書・参考書	テーマにより選定する。						
成績評価の基準と方法	報告書、レポート、出席状況などを総合的に評価する。						

授業コード		授業題目	家庭科教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	水2
担当教員名	西島・針谷・田村・森田			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話	088-844-8397			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	家庭科教育において、こどもの発達段階や生活課題に応じた教材開発を、附属校園等の授業の観察・記録・参加を基に、実証的に研究することを指導する。						
授業計画							
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法	出席とレポートで評価する						

授業コード		授業題目	家庭科教育実践研究Ⅰ(長期インターンシップ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	
担当教員名	菊地・小島・西島・針谷・田村・森田			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。						
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。						
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。						
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	家庭科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシ ブ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	
担当教員名	菊地・小島・西島・針谷・田村・森田			担当教員所属	家政教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。						
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。						
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。						
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえて、実習校指導担当者との協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	課題研究		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2学期	曜日・時限
担当教員名	菊地・西島・針谷・小島・田村			担当教員所属	家政教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	各学生に研究課題を設定し、その研究を遂行させることを通じて、家庭科教育、家政教育における高度の専門的知識及び自ら研究する能力を習得させるよう指導する。					
授業計画						
達成目標(達成水準)						
授業時間外の学習						
教科書・参考書						
成績評価の基準と方法						